

## 図書館だより

## 目次

|                |     |
|----------------|-----|
| 図書館の不思議        | 1   |
| 各学科から夏休みおすすめ図書 | 2~3 |
| 学生選書ツアー報告      |     |
| インフォメーション      | 4   |

## 図書館の不思議

村山 純（経営学部 学部長・教授）



図書館は太古の昔からあります。紀元前 2600 年には、粘土板に書かれた文書を保存する施設があったとのことですし、有名なエジプト、アレクサンドリアの図書館は、紀元前 3 世紀にできたそうです。

このように、人類の歴史とともに古い図書館ですが、いくつか不思議なことがあるように感じています。

第一の不思議は、「この世知辛い世の中で、図書館はタダなのに、なぜ利用者が低迷するのか？」です。普通、タダだと人がわんさと押し寄せると、図書館にある本という本がすべて貸し出されてもおかしくないはずですが、しかし、実際にはそうになっていない。多くの図書館がいかんして利用者の増加を図るかに頭を痛めているようです。

本を借りても、お金と違って利息を払う必要がないし、返却期日を過ぎると怖い取立人が来るわけでもありません。それなのに、なぜ本を借りないのか。人々は、ひょっとして、借金をしてはいけないという先祖の教えを拡大解釈して、お金ばかりか本も借りてはいけないと思込んでいるのでしょうか。

第二の不思議は、『本の虫』は、なぜ図書館に来ないで自宅に本をためこむのか？です。「本の虫」とは別名「活字中毒患者」ともいわれる人々で、活字があると、読まずにはいられない性分の人々です。図書館には本がいっぱいあるわけですから、図書館と最も相性のいいのは「本の虫」のはずで、図書館は「本の虫」であふれかえるはずですが、しかし、実際にはそうになっていない。

現在の日銀総裁、黒田東彦氏は高校生の頃、学校の図書館の本をすべて読んだという逸話の持ち主だそうですから、明らかに「本の虫」で、しかも図書館との相性が良かったと推察されます。高校の図書館といえば、毎月、雑誌『鉄道ファン』の写真を眺めるくらいしか利用しなかった筆者とは大違いです。しかし、若い頃の黒田氏は例外で、「本の虫」の多くは、図書館に来るより、どちらかという自宅に本をあふれさせるのが好きなように思われます。

夏目漱石の写真には、積み重なった本に取り囲まれているものがありますし、最近亡くなられた英文学者の渡部昇一氏のご自宅にも万巻の書籍があるそうです。

フランス文学者の鹿島茂氏も本の蒐集家で、とうとう本棚の設計まで手掛けられたとのことでした。

筆者の尊敬するツチャヤ師（『週刊文春』に時々登場される聖人で哲学者の土屋賢二氏とは別人とされる）も、奥様に自宅の書棚の組立を命じられて苦悩されているようです。

第三の不思議は、「なぜ図書館は若者にあまり人気がないのか？」です。若者といえば、恋愛。現代の脳科学によると、恋愛状況にある女性の脳は、相手の男が信用できる人間かどうかにか敏感になっていて、それは将来、長い時間をかけて子供を育てることを考えると、生物学的に理にかなっているそうです。

信頼できるかどうかという観点からは、図書館で本を読む男の方が、繁華街で遊んでいる男よりよっぽどいいはず。そうであれば、図書館は、信頼できる男を求めるとして美しい女性と、それにこたえようという軽薄な男であふれかえっていてもおかしくありません。しかし、実際にはそうになっていない。聞くところによると、現在の公立図書館の多くは、恋愛とは無縁の中青年男に占領されています。彼らは、朝、図書館に行列をつくり、開くや否や突進。これは、日銀総裁を目指して勉強しようというわけではなく、図書館にある新聞のチラシ広告を手に入れ、どのスーパーが安いかチェックするための行動とのこと。今後は、少子高齢化対策として、図書館を中青年男から取り戻し、若者の場所に転換する必要があります。

第四の不思議は、「なぜ図書館で本を執筆する人がいないのか？」です。多くの本や資料のある図書館は、本の執筆場所として最適なはずですが、実際にはそうになっていない。このように書くと、「マルクスは大英博物館の図書室で『資本論』を執筆した」という指摘が出てくるでしょうが、マルクスはかなり例外なのではないのでしょうか。筆者は、マルクス以外、図書館で本を書いたという人の話を聞いたことがないのです。（マルクスはよほど家に居づらい事情があったのでしょうか。）

第五の不思議は、「なぜ図書館には食堂が併設されていないか？」です。本を読んだり字を書いたりする作業というのは、結構エネルギーを消費するものです。「腹が減っては戦ができません」ですが、勉強もできません。一生懸命勉強するためには、食っては読み、食っては書きを繰り返す必要があり、図書館には食堂が併設されるべきです。しかし、実際にはそうになっていない。おなかがいっぱいだと眠くて本が読めなくなると心配してくれているのでしょうか。

ここまで書いたところで、腹が減ったのでやめますが、このように、図書館は不思議がいっぱいあるところですが、多くの学生諸君が図書館で勉強し、ここに記した謎を解き明かしてくれることを期待しています。

# 夏休みのおすすめ図書



## 人生の豊饒な物語

子ども学部 子ども学科

岸 政彦, 2014 『街の人生』 勁草書房

愛育養護学校編, 1996 『親たちは語る：愛育養護学校の子育て・親育ち』 ミネルヴァ書房

同じものを見て、同じものを聞いて、感じることは人それぞれという経験はみなさん多々あるかと思います。同じ世界に生きる、ということもそれは同じなのでしょう。満員電車の中で共にぎゅうぎゅうと乗り合わせた人たち、渋谷のスクランブル交差点ですれ違う人たち、同じこの大学に通う人のことも、実はな一人にも知らないことばかりです。

「どんなふうに生きてますか？」と尋ねることを思わずしてみたくになります。けれども、訝しげな顔でスルーされるのが関の山でしょうから、その気持ちはぐっと抑えて毎日ひとりで街を歩きます。

民俗学者の柳田国男は『山の人生』の中で、「我々が空想で描いてみる世界よりも、隠れた現実の方が遥かにもの深い」と記していますが、『街の人生』では、街の中で、街で生きる人に、その人の生きざまの語りがありのままに書き綴られています。その人が自身で納得し、了解していること、納得も了解もできないこと、登場する5人は滔々と、伸びやかに著者の岸さんへと語ります。また、岸さんと、岸さんと語る5人との、話をしつつ作り上げられていく関係性やそこに流れる空気が伝わってくるようなリアルな語りがそこには展開されています。

「私たちはあらかじめ決められた状況に閉じ込められ、その範囲の中で、必死に最良の選択肢を選んで、ひとりで生きるしかないので。ここにあるのは、私たちと同じ普通の人々が、たったひとりでさまざまな問題に取り組んだ、普通の、しかし偉大な物語なのです」（『八の人生』「はじめに」より）

【坪井 瞳 准教授】

## この夏、新しい領域に挑戦してみよう

経営学部 経営学科

経営学部では、新カリキュラムの導入に伴い、経営・経済関係図書と並行して、下記のような図書の充実を目指してきました。学生の皆さんが読みやすいものばかりです。図書館に設置してありますので、それぞれの目的に合わせて利用してください。

### 〈ファッションビジネス・エンターテインメントビジネス・観光ビジネス関連の図書〉

時間に余裕のある夏休み、ゼミの課題や卒業論文執筆の資料として活用してください。

『ファストファッションはなぜ安い?』『ファッションビジネスの文化論』

『「面白さ」の研究：世界観エンタメはなぜブームを生むのか』

『観光マーケティング入門』『基礎から学ぶ観光プランニング』など多数。



### 〈資格関係の図書〉

将来に向けて資格取得を目指す学生は、夏休み期間に集中的に勉強することをお勧めします。

『税理士をめざす人の本』など簿記・会計関係。『パーフェクトFP技能士対策問題集』など

ファイナンシャルプランナー関係。『宅建士の教科書』など宅地建物取引士関係。さらに、

『ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト』『ファッション販売能力検定試験問題2級』など

と、各種揃えてあります。

【田中 真理子 教授】





Thomas D. Seeley (原著), 片岡 夏実 (翻訳) 2013

『ミツバチの会議—なぜ常に最良の意思決定ができるのか—』 築地書館



「部屋は狭いけど新築の家に住もうか、それとも、古いけどキッチンも部屋も広い家に住もうか…」ランチを食べるとき、進路を決めるとき、引っ越し先を決めるとき…日常のさまざまな場面で、私たちは「自分にとってベスト」な選択をしようと考え、悩み、努力する。しかし、人間は常に合理的な意思決定をするとは限らず、そのときの感情に任せて適当に決めてしまったり、周りのアドバイスを聞かずに決めてしまったりして、あとで後悔することは少なくない。これは、集団の意思決定にも当てはまる。皆さんの中には、みんなで知恵を出し合って決めたとはいえないのに、それが悲しい結末をもたらしてしまった、という経験を持つ人がいるだろう。

トーマス・シーリーの『ミツバチの会議—なぜ常に最良の意思決定ができるのか—』は、ミツバチの研究をもとに、最良な意思決定のためのヒントを教えてくれる。著者と仲間の研究者たちは、ミツバチたちの新しい家（巣）探しに、どのような意思決定が行われているのかを調査し続けてきた。巣箱を何百個も作り、ミツバチ 1 匹 1 匹に個別の番号をつけるなど、地道かつ大胆な方法の数々が紹介されている。また、著者らのミツバチに対する愛と研究への情熱がビシビシ伝わり、読んでいてこっぴどワクワクしてくるのだ。本書を読めば、人間には到底かなわないような、民主的で合理的な「話し合い」をミツバチたちが行い、それが確実に最良な意思決定に向かっていくことがわかる。読み応えたっぷりの一冊だ。

これからの季節、草花のそばでミツバチを見かけることもあるだろう。そんなとき、本書に描かれているミツバチの魅力の思い出せば、暑さも和らぐ心地良い気分になれるはずだ。

【上條 菜美子 助教】

## 夏こそ『好き』をきわめよう

短期大学 幼児教育科

### フランス絵本シリーズ：『おやすみなさい フランス』“*Bedtime for Frances*” ほか

本学の図書館は夏休み期間には部分的に休館しています。

残念？ そうですね。涼しい図書館で毎日勉強したい学生さんもいるでしょうね。

でも、この時期には、通常とは異なる長期貸出制度が実施されるのです。ということは…、ちょっと厚い本や難しい本など、通常の貸出期間では手を出しにくい本を、堂々と手元に置いておくチャンスだということです。

この機会に、長いシリーズものを読破することもできますね。夏休みこそ、図書館を活用して、皆さんの興味・関心を深め、おのおの好きな世界をたっぷりと堪能してほしいと思います。

私がこの夏におすすめしたいのは、絵本等の原書（英語版）と名訳とされている日本語版とを読み比べることで。たとえば、定番とされる名作絵本『おやすみなさい フランス』を代表とするフランス・シリーズは本学の図書館に 5 冊入っていますが、それぞれに原書があります。幼児の読む絵本ですので、使われている単語は簡単です。

ぜひ、原語を声に出して読んで、英語のリズムを楽しんでください。そして、翻訳者（松岡享子さん）が独特な韻やリズムを翻訳するにあたってどんな工夫をしたのかを読み取ってみてください。

英語が好きなあなた、絵本が好きなあなた、フランスがあなたを待っています。

ちなみに、わたしがいちばん好きなのは『フランスのいえで』。

原書のタイトルは “*A BABY SISTER FOR FRANCES*” です。

妹が生まれて淋しくなったフランスは、さあ、どうするのでしょうか。

【大國 ゆきの 教授】



# “学生選書ツアー”に行ってきました！

「選書ツアー」は学生の皆さんが図書館に置くための本を選びに、書店へ出かけるツアーで、十条台キャンパス図書館の恒例の催しです。本屋さんの中を自由に歩き回り、読みたい本やお薦めの本を手にとって選べるので、とても楽しいですよ。

さて今年の選書ツアーは6月21日（水）午後5時、紀伊國屋書店新宿本店で開催されました。あいにくの雨天でしたが各学部学科から13名の学生さんと教職員5名が集まり、ハンディ（本のバーコードから書誌情報を読み取る機器）を手に、選書に勤めました。ちなみに昨年までは新宿南店で行われていたのですが、まさかの閉店。しかし、さすがは老舗書店！新宿本店の充実ぶりには目を見張ります。私の著書もありました（笑）。選書時間は2時間。どの学生さんも真剣な表情で、本を選んでいました。保育や幼児教育、経営学、心理学、自然科学、エッセイ、小説、絵本、音楽など学生さんたちが選んだ本はさまざまな分野にわたりました。これらの本は近々、選書を手掛けた学生さん自身によるPOPつきで配架されますので、どうぞ楽しみにしてください。

【長野麻子 子ども学部准教授】



## Information

### 展示のお知らせ

#### ■ 学生選書ツアー報告展示

「学生選書ツアー」で購入した本を以下のとおり展示いたします。もちろん貸出もできます！本の扉は未知の世界へと続くドアです。その手で開いてみてください。

期 間： 2017年7月24日（月）～9月30日（土）  
場 所： 図書館1階 展示コーナー（エレベーター前）

### 夏季休業中の図書館利用について

#### ■ 図書の長期貸出について

夏季休業中は、以下のとおり特別長期貸出を実施いたします。

- 実施期間： 2017年7月29日（土）～9月15日（金）
- 返却期限： 2017年9月30日（土）



#### ■ 開館スケジュール \*変更される場合があります。HPや掲示板をご確認ください。

| 8:50～21:50 |    |    |    |    |    |    | 8:50～17:50 |    |    |    |    |    |    | 8:50～17:00 |    |    |    |    |    |    | 休 館 |    |    |    |    |    |    |
|------------|----|----|----|----|----|----|------------|----|----|----|----|----|----|------------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 7 月        |    |    |    |    |    |    | 8 月        |    |    |    |    |    |    | 9 月        |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |
| 月          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月   | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |
|            |    |    |    |    | 1  | 2  |            | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |            |    |    |    | 1  | 2  | 3  |     |    |    |    |    |    |    |
| 3          | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 7          | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 4          | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11  | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 10         | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 14         | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11         | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18  | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 17         | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 21         | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18         | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25  | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |
| 24         | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 28         | 29 | 30 | 31 |    |    |    | 25         | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |     |    |    |    |    |    |    |
| 31         |    |    |    |    |    |    |            |    |    |    |    |    |    |            |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |